

ふくしま農業女子ネットワーク 農女びより



農作業を通じて交流するいいたて雪っ娘ファンクラブの方々＝飯館村のほ場

◆ふくしま農業女子ネットワーク（愛称：百笑一姫♡Fukuがある）農業女子同士の交流・連携を深め、技術の向上を図ろうと、県内の女性就農者や就農希望者65人で構成。福島民報社をはじめ、県内の30企業・団体が「応援団」として登録している。農産品を使

った加工品の共同開発や情報発信、経営力向上、販路拡大などに連携して取り組む。メンバー、応援団となる企業・団体を随時募集している。URLは<http://www.fuku-girl.jp/>

問い合わせは事務局 県農業担い手課 電話024(521)7340へ。



わたなべ 渡辺 とみ子さん（福島市）

地域つなぐ「雪っ娘」

飯館村オリジナル品種のカボチャ「いいたて雪っ娘」を生産しています。東日本大震災と東京電力福島第一原発事故後も、避難先の福島市で大切に種をつないできました。飯館村の避難指示が解除になり、一昨年から飯館村でも新しくほ場を借り、生産量アップを図っています。

立つて試食販売をさせていただいてます。

いいたて雪っ娘を村の特産品として育て、多くの方に飯館村へ来ていただき、私たちの家を体験や交流の場としてやっていきたいという願いが私と夫の夢でした。いつも仲良く歩んできた私達夫婦でしたが、一昨年、夫が亡くなりました。夫亡き後も、一緒に描いた夢は決して諦めることなく一歩一歩進んでいます。

た品種開発者の菅野元一さんから、育ての親として全国に広がった生産者達。私はその間をつなぐ人として関わることができて幸せかもかもしれません。そしてその役目を守るため、いいたて雪っ娘を使った加工品には商標登録をしました。いただいたご縁で、さらに人や地域をつなぐいいたて雪っ娘を育てていきます。

ほ場には、全国からいいたて雪っ娘ファンクラブの方々が年に数回足を運んでくださり、種まきから収穫まで一緒に作業して成長を見届けるというサイクルもできてきました。

通して、農業に関することや、農業の副産物を利用したお料理の提供など、関わってきた方々に新しい発見と大きな感動を味わっていただいています。

大手スーパーのイオンは福島市松川町のほ場で種まきと収穫を一緒にしていたいただきました。3年前から毎年冬至の頃に、県内のイオンの店舗にいいたて雪っ娘が並び、私も店頭

いいたて雪っ娘を生んでくださる

いいたて雪っ娘が並び、私も店頭

いいたて雪っ娘を生んでくださる

いいたて雪っ娘を生んでくださる

いいたて雪っ娘を生んでくださる

❖プロフィール❖ 福島市生まれ。結婚を機に飯館村へ移り、農業を始める。村特産のカボチャ「いいたて雪っ娘」の生産、販売、六次化商品開発に取り組む。東日本大震災後は福島市に移り、避難した女性を支援する「かーちゃんの力プロジェクト」を発足。いいたて雪っ娘かぼちゃプロジェクト協議会長を務める。